

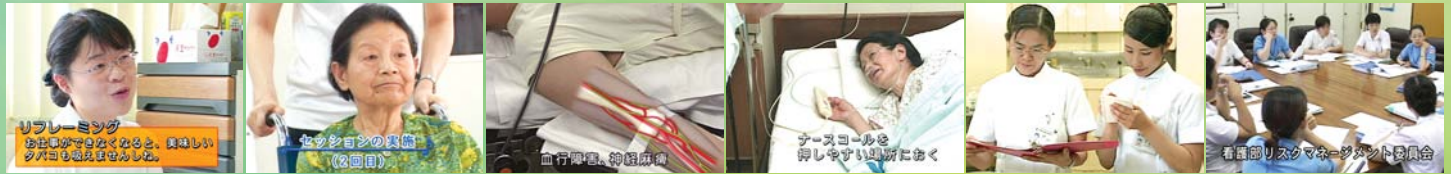


目で見る看護介入

事例解説付



看護介入とは、患者さんに適した関わりをすることで、その患者さんが本来持っている能力を引き出し、より良い状態に導くことです。このビデオは、看護介入の実際を事例を付けて分かりやすく解説した最新版です。



vol.1 口腔ケア 33分

■原案:山口 瑞穂子 順天堂医療短期大学 名誉教授
口腔の構造と機能を解説し、口腔ケアの役割、目的、方法、効果を示します。またアセスメント視点、必要物品などについても見ていきます。【事例解説】いくつかの看護場面における、口腔ケア上の問題点や看護目標を明らかにし、口腔ケアの実際を示します。(炎症・舌苔・口臭の例、経口気管内送管の例、口腔・口唇乾燥の例、開口困難の例、義歯の例)

vol.2 排泄ケア ■尿失禁 37分

■原案:本郷 久美子 前 三育学院短期大学 助教授
尿が作られる過程、排尿のメカニズムを解説します。また排尿障害の種類、尿失禁のタイプ別分類、判別方法などを示します。【事例解説】1) 山岡さんは切迫性尿失禁、機能性尿失禁です。器具の選択、薬物療法、トイレへの誘導方法やタイミング、またプライバシーの保護について解説します。2) 青山さんは腹圧性尿失禁と診断されました。骨盤底筋体や生活の指導、ケア商品の紹介等の介入を行います。体操の効果、症状改善による心理的効果について説明します。

vol.3 ポジショニング 37分

■原案:小島 善和 東海大学 健康科学部 助教授
色々なポジションについて説明し、適用、身体に及ぼす影響について解説します。また具体的な場面でのポジショニングを見ていきます。(慢性呼吸不全、呼吸困難、大腿骨頭置換術後、右半身麻痺、胃内視鏡検査、脳槽ドレナージ、気管内送管時、手術中など) 【事例解説】西山さんは胃がんの手術を受けます。硬膜外麻酔と手術中のポジショニングについて解説します。手術直後のポジションと体位変換、機能回復のためのポジショニングの進め方、食事開始時のポジショニングについて見ていきます。

vol.4 呼吸のケア 39分

■原案:宮下 多美子・廣瀬 京子・川瀬 みさ子 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 看護部 ■原案協力:大島 弓子 愛知県立看護大学 看護学部 教授
呼吸の生理を解説し、呼吸機能を障害する要因を3つのアセスメント視点から見ていきます。実際の呼吸雑音を示し、呼吸理学療法と手技について解説します。【事例解説】丸山さんは中等症の右肺炎です。ポジショニングとスクイージングを行います。看護師はSaO₂、呼吸や痰の状態等に注意し介入します。その他、体位変換・栄養・活動レベル拡大の指導、呼吸ケアの効果、退院目安について解説します。

vol.5 感染のコントロール 37分

■原案:大島 弓子 愛知県立看護大学 看護学部 教授
感染成立のメカニズムを明らかにし、感染のコントロールの意義を示します。また感染防止のアセスメント視点、技術について解説します。【事例解説】松本さんは慢性呼吸不全です。検査データ、処置から感染の徴候や危険因子を明らかにし、病原体の除去、感染経路の遮断、感染防御機能の強化等のコントロール方法を説明します。また退院後のセルフケアを促す患者指導を見ていきます。

vol.6 リスクマネージメント 31分 NEW

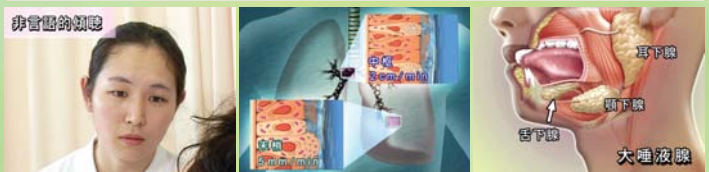
■原案:金子 万里子 東海大学医学部付属病院 看護部 次長
リスクマネージメントを行うにあたっての組織と基本的な考え方、プロセスと具体的な実務の流れを解説します。また、転倒・転落、輸血、薬剤に関する事故について、要因と防止策を具体的に解説します。さらに、医療器具・医療機器の進歩、事故が起こったときの対応、用語や行政の取り組みについて見てゆきます。

vol.7 リスクマネージメントケーススタディ 34分 NEW

■原案:内田 陽子・森 悟子・水元 明裕 東海大学医学部付属病院 看護部 主任
【事例解説】1) 林看護師はKCLを三活活栓に注入するところでした。安全な与薬に必要な介入方法を見てゆきます。2) 呼吸困難の加藤さんが、夜間の排泄時に転倒します。加藤さんには様々な危険因子がありました。事故の要因を分析し、アセスメントや介入方法を示します。3) その日の輸血スケジュールは、花上さんの予定輸血と井上さんの緊急輸血です。輸血事故の要因を分析し、正しい輸血実施の手順を示します。

監修:藤村 龍子 東海大学 健康科学部 教授

NEW
●全12巻 セット価格 ¥352,800 (本体価格 ¥336,000)
セット購入サブノート付
●各巻 価格 ¥29,400 (本体価格 ¥28,000)
●総代理店:株式会社京都科学



vol.8 健康教育 45分 NEW

■原案:小島 善和 東海大学 健康科学部 助教授
成人の学習する上での特徴を示し、健康教育の目標と方法を解説します。また看護師の関わり方などについても見ていきます。【事例解説】1) 青木さんは再教育の目的で入院中です。看護師は気持ちを尊重した関わりをして、主体的に禁煙に取り組みやすいよう指導します。2) 別所さんにインスリン療法が導入されます。看護師は自立性を尊重した関わりをして、セルフケア能力を引き出します。3) 金子さんは、糖尿病を自分の問題と感じていません。看護師は他の患者と接する機会を作ります。これにより糖尿病を自分の問題として認識します。

vol.9 音楽療法 42分 NEW

■原案:志水 哲雄 東海大学 教養学部 教授
音楽の作用を説明し、音楽療法の適用、音楽療法の形態、流れを解説します。また医療の現場で多く行われている集団音楽療法の、実際の活動内容を紹介します。【事例解説】痴呆症状がある連藤さんに音楽療法が適用されました。初回は様子を観察し、参加しやすい環境の提供を検討します。2回目に使用した曲が連藤さんの経験と結びつきました。これが看護計画に新たな方向性を加えることになりました。

vol.10 積極的傾聴法 40分 NEW

■原案:本郷 久美子 前 三育学院短期大学 助教授
積極的傾聴の意義を明らかにし、目的、効果、方法と技術について解説します。またケアリングの概念についても説明します。【事例解説】村上さんは直腸癌で手術を受けました。経過は良好でしたが術後6日目、点滴を拒否します。看護師は気持ちを聞き、それを受容します。感情を表出し、心の苦痛が軽くなった村上さんは、回復への取り組みも積極的になりました。

vol.11 意思決定支援 35分 NEW

■原案:本郷 久美子 前 三育学院短期大学 助教授
意思決定のプロセスを示し、意思決定上の葛藤、支援の方法、原則、前提、倫理、インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンについて解説します。【事例解説】若田さんはストーマ造設が必要であると告げられます。悩みますが、家族の理解、医療者の援助により、自らの意思で納得して手術を受けます。手術後にはストーマを受け入れ、前向きな気持ちを持つことができています。

vol.12 家族支援 44分 NEW

■原案:山口 瑞穂子 順天堂医療短期大学 名誉教授
家族の形態や役割を示し、ケアを必要とする人や主な内容について解説します。【事例解説】山本さんはCOPDで在宅酸素療法を行っています。在宅介護も2週間になり、妻や娘にも疲れが見え始めました。看護師は呼吸の練習法、歩行練習などの技術指導、労力の分散、心理的負担の緩和、社会資源の情報提供などの介入を行い、家族関係を調整します。